

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of

Seiji TAKUBO et al.

Serial No. NEW : **Attn: APPLICATION BRANCH**

Filed January 6, 2004 : Attorney Docket No. 2003-1902A

STROLLER

CLAIM OF PRIORITY UNDER 35 USC 119

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

THE COMMISSIONER IS AUTHORIZED
TO CHARGE ANY DEFICIENCY IN THE
FEES FOR THIS PAPER TO DEPOSIT
ACCOUNT NO. 23-0975

Sir:

Applicants in the above-entitled application hereby claim the date of priority under the International Convention of Japanese Patent Application No. 2003-003502, filed January 9, 2003, Japanese Patent Application No. 2003-004660, filed January 10, 2003 and Japanese Patent Application No. 2003-004667, filed January 10, 2003, as acknowledged in the Declaration of this application.

Certified copies of the Japanese Patent Applications are submitted herewith.

Respectfully submitted,

Seiji TAKUBO et al.

By:



Nils E. Pedersen
Registration No. 33,145
Attorney for Applicants

NEP/pth
Washington, D.C. 20006-1021
Telephone (202) 721-8200
Facsimile (202) 721-8250
January 6, 2004



日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2003年 1月 9日
Date of Application:

出願番号 特願2003-003502
Application Number:

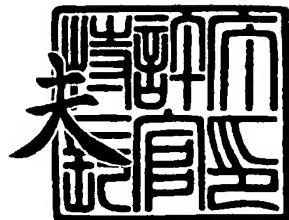
[ST. 10/C] : [JP2003-003502]

出願人 コンビ株式会社
Applicant(s):

2003年11月27日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康



【書類名】 特許願
【整理番号】 14025301
【提出日】 平成15年 1月 9日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 B62B 7/06
【発明の名称】 ベビーカー
【請求項の数】 5
【発明者】
【住所又は居所】 埼玉県岩槻市釣上新田271 コンビ株式会社内
【氏名】 田久保 精 司
【発明者】
【住所又は居所】 埼玉県岩槻市釣上新田271 コンビ株式会社内
【氏名】 黒 巣 広 子
【発明者】
【住所又は居所】 埼玉県さいたま市南浦和3丁目36番18号 コンビ株式会社 南浦和テクノセンター内
【氏名】 森 口 健太郎
【特許出願人】
【識別番号】 391003912
【住所又は居所】 東京都台東区元浅草2丁目6番7号
【氏名又は名称】 コンビ株式会社
【代理人】
【識別番号】 100075812
【弁理士】
【氏名又は名称】 吉 武 賢 次
【選任した代理人】
【識別番号】 100073379
【弁理士】
【氏名又は名称】 佐 藤 政 光

【選任した代理人】

【識別番号】 100091982

【弁理士】

【氏名又は名称】 永 井 浩 之

【選任した代理人】

【識別番号】 100096895

【弁理士】

【氏名又は名称】 岡 田 淳 平

【選任した代理人】

【識別番号】 100105795

【弁理士】

【氏名又は名称】 名 塚 聰

【選任した代理人】

【識別番号】 100106655

【弁理士】

【氏名又は名称】 森 秀 行

【選任した代理人】

【識別番号】 100117787

【弁理士】

【氏名又は名称】 勝 沼 宏 仁

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 087654

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ベビーカー

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

手押し杆と、一対の後脚と、一対の前脚とを有するベビーカー本体と、
ベビーカー本体に設置され、ベース座部およびベース背部を含むベースシート
と、

ベースシート上に配置され、座部と、座部の両側に立上がる側部と、座部の背
側の背部とを含む脱着シートとを備え、

脱着シートの側部内に、側部の立上り状態を保つひもを固着したことを特徴と
するベビーカー。

【請求項 2】

側部内のひもは、前方から後方に向って上昇するよう配置されていることを特
徴とする請求項 1 記載のベビーカー。

【請求項 3】

側部内のひもは、前方から後方に向って下降するよう配置されていることを特
徴とする請求項 1 記載のベビーカー。

【請求項 4】

側部内のひもは、その両端部が側部内に固着されていることを特徴とする請求
項 1 記載のベビーカー。

【請求項 5】

手押し杆と、一対の後脚と、一対の前脚とを有するベビーカー本体と、
ベビーカー本体に設置され、ベース座部およびベース背部を含むベースシート
と、を備え、

ベースシートはベース座部の両側に立上がるベース側部を有し、ベースシート
のベース側部内に、ベース側部の立上り状態を保つひもを固着したことを特徴と
するベビーカー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の目的】

本発明はベビーカー本体と、ベビーカー本体上に設置されたベースシートおよび脱着シートとを有するベビーカーに関する。

【0002】**【従来の技術】**

従来よりベビーカー本体と、このベビーカー本体上に設置されたベースシートと、ベースシート上に設けられた脱着シートとを有するベビーカーが知られている。

【0003】

このうち、ベースシートはベース座部と、ベース背部とを有し、ベースシート上に配置される脱着シートは座部と、側部と、背部と、を有している。この場合、脱着シートの座部はベース座部により支持され、脱着シートの背部はベース背部により支持される。

【0004】**【発明が解決しようとする課題】**

上述のようにベビーカー本体上にベースシートと脱着シートが配置されるが、このうち脱着シートは、座部と側部と背部とが一体に形成されるとともに、側部が座部に対して立ち上がり、全体としてボックス状に構成されている。しかしながら、脱着シートは全体として柔軟材からなっているため、ベビーカーを折り畳み状態から展開した場合、あるいは乗せられる幼児が触わった場合に、側部外方へ倒れてしまい脱着シートのボックス形状を確実に構成できないことがある。

【0005】

本発明はこのような点を考慮してなされたものであり、脱着シートのボックス形状を安定して保つことができるベビーカーを提供することを目的とする。

【0006】**【課題を解決するための手段】**

本発明は、手押し杆と、一対の後脚と、一対の前脚とを有するベビーカー本体と、ベビーカー本体に設置され、ベース座部およびベース背部を含むベースシートと、ベースシート上に配置され、座部と、座部の両側に立上がる側部と、座部

の背側の背部とを含む脱着シートとを備え、脱着シートの側部内に、側部の立上り状態を保つひもを固着したことを特徴とするベビーカーである。

【0007】

本発明は、側部内のひもは、前方から後方に向って上昇するよう配置されることを特徴とするベビーカーである。

【0008】

本発明は、側部内のひもは、前方から後方に向って下降するよう配置されることを特徴とするベビーカーである。

【0009】

本発明は、側部内のひもは、その両端部が側部内に固着されていることを特徴とするベビーカーである。

【0010】

本発明は、手押し杆と、一対の後脚と、一対の前脚とを有するベビーカー本体と、ベビーカー本体に設置され、ベース座部およびベース背部を含むベースシートと、を備え、ベースシートはベース座部の両側に立上がるベース側部を有し、ベースシートのベース側部内に、ベース側部の立上り状態を保つひもを固着したことを特徴とするベビーカーである。

【0011】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明の実施の形態について説明する。

【0012】

図1乃至図4は本発明によるベビーカーの一実施の形態を示す図である。

【0013】

図1に示すようにベビーカー10は、双輪式の前輪11を有する左右一対の前脚12と、双輪式の後輪13を有する左右一対の後脚14と、ほぼ逆U字状に屈曲された手押し杆15と、左右一対のアームレスト16とを備えている。

【0014】

手押し杆15は左右一対のパイプ17を有し、左右のパイプ17の下端近傍には、それぞれ上記アームレスト16の一端が枢着されており、そのアームレスト

16の他端部に前脚12の頂端部が枢着されている。

【0015】

また、左右の後脚14の頂端部はアームレスト16の中間部に枢着されており、後脚14の中間部にはく字状に屈曲されたブラケット18の一端が枢着されている。そして、そのブラケット18に前記手押し杆15を構成するパイプ17の先端がそれぞれ枢着されている。ベビーカー10の展開状態において、上記ブラケット18の他端に上記パイプ17の下端部に摺動可能に枢着されたロック部材19が係合し、その展開状態を維持するようにしてある。

【0016】

一方、左右の前脚12はフットレスト20が設けられた前側連結バー21によって連結されており、左右の後脚14は後側連結バー22により連結されている。また一方の前脚12と一方の後脚14との間および他方の前脚12を他方の後脚14との間に連結バー（図示せず）が設けられている。

【0017】

なお、上記構成部材、すなわち双輪式の前輪11を有する左右一対の前脚12と、双輪式の後輪13を有する左右一対の後脚14と、手押し杆15と、一対のアームレスト16とによりベビーカー本体10aが構成されている。この場合、一対の後脚14の双輪式の後輪13には、ストッパ13aが取付けられている。

【0018】

また図3および図4に示すように、ベビーカー本体10aには、ベース座部52aとベース背部52bとを一体に有するベースシート52が取付けられており、さらにベースシート52上には、座部30と、側部54と、背部32とを一体に有する脱着シート30aが設置されている。このうち、側部54は座部30の両側にそれぞれ立上がるよう設けられ、背部32は座部30の背側に設けられている。

【0019】

さらに、一対のアームレスト16の前端側には、ガイドレール31が取付けられており、また、前側連結バー21にも一対のヒンジ21aが設けられている。なお、ガイドレール31は薄板状の金属板を軟質合成樹脂で覆うことにより構成

されている。さらに後側連結バー 22 も一対のヒンジ 22a を有している。また手押し杆 15 は、その上部に操作装置 28 を有し、この操作装置 28 の両端にはヒンジ 15a が形成されている。

【0020】

さらに、座部 30 の挿通口 30b から腹ベルト 36 が延び、この腹ベルト 36 はベース座部 52a に取付けられている。腹ベルト 36 はシートベルト 37 とバックル 38 により接続されている。

【0021】

また、アームレスト 16 の手押し杆 15 側には、幌 34 を支持するフレーム 35 が揺動自在に取付けられている。また座部 30 の下方には、バスケット B が取付けられている。

【0022】

次に座部 30 と側部 54 と背部 32 とを一体に有する脱着シート 30a と、ベース座部 52a とベース背部 52b とを一体に有するベースシート 52 について、図3 および図4 により更に詳述する。

【0023】

座部 30 と側部 54 と背部 32 は、脱着シート 30a により一体に構成されており、この脱着シート 30a はベビーカー本体 10a に支持されたベースシート 52 上に配置されている。すなわちベースシート 52 はベース座部 52a とベース背部 52b とを有し、このうちベース座部 52a により脱着シート 30a の座部 30 が支持され、ベース背部 52b により脱着シート 30a の背部 32 が支持される。

【0024】

またベースシート 52 のベース座部 52a は、前脚 12 と後脚 14 とを連結する連結バーに取付けられた座部支持機構により支持され、さらにベースシート 52 のベース背部 52b は保持フランプ 53 により手押し杆 15 のパイプ 17 に固定されている。

【0025】

次に脱着シート 30a とベースシート 52 の材料について述べる。脱着シート

30aは全体として、柔軟でかつ薄手の材料、例えばニット生地からなっている。またベースシート52のうちベース座部52aは合成樹脂材、例えばポリエスチル生地からなり、一方ベース背部52bはポリエステル製のメッシュ構造体からなっている。ベース背部52bのメッシュ構造体は3.5mm径の通気孔を有し、このため背部32近傍における通気性を向上させることができる。

【0026】

なお、ベースシート52のうち、ベース座部52aおよびベース背部52bの双方をメッシュ構造体により形成してもよい。

【0027】

また図4に示すように、脱着シート30aの側部54には、側部54の立上り状態を保つ引張ひも55が内蔵されている。脱着シート30aは座部30と、背部32と、側部54とを有し、このうち側部54は座部30に対して立上がって形成され、このため脱着シート30aは全体としてボックス形状に構成されている。

【0028】

ただし脱着シート30aは、上述のように柔軟材から形成されているため、ベビーカー10を折り畳み状態から展開状態へ展開した場合、あるいはベビーカー10に乗せられる幼児が触わったりした場合に、脱着シート30aの側部54が外方へ倒れてしまうことがある。この場合は、脱着シート30aがボックス形状を維持することがむずかしく、幼児が側部54近傍の部材を触わったりすることがあり危険であり、また脱着シート30aのボックス形状がくずれて外観上、問題が生じることも考えられる。

【0029】

本発明によれば、上記のように側部54内に、側部54が外方へ倒れて展開することを防止する引張ひも55が内蔵されているため、側部54が外方へ倒れて展開することはない。

【0030】

具体的には、図4に示すように、引張ひも55は脱着シート30aの側部54内において前方から後方に向って（背部32側に向って）、上昇するように配置

されている。また引張ひも 55 の両端部 55a, 55b は、側部 54 内に固着され、これによって引張ひも 55 により側部 54 内が引張られて側部 54 の立上がり状態を維持している。すなわち、引張ひも 55 のうち一方の端部 55a は側部 54 の内側に設けられ、他方の端部 55b は側部 54 の外側に設けられ、これにより引張ひも 55 の両端部 55a, 55b 間の側部 54 の内部が引張られことが好ましい。このため側部 54 が外方へ倒れようとしても側部 54 の内部が引張ひも 55 により引張られるため、側部 54 の立上がり状態を保つことができる。

【0031】

なお、引張ひも 55 を側部 54 内において前方から後方に向って降下するよう配置してもよい。

【0032】

しかし、図 1 に示すベビーカー 10において、パイプ 17 の下端に設けられたロック部材 19 をブラケット 18 の上端に係合することによって、ベビーカー 10 が使用可能な展開状態に保持される。

【0033】

一方、手押し杆 15 に設けられている操作装置 28 を操作することによりロック部材 19 とブラケット 18 との係合を解除する。このときアームレスト 16 がパイプ 17 との枢着点を中心として上方に揺動可能となり、前脚 12 と後脚 14 とがほぼ平行状態に揺動され、携帯等に便利なように折り畳むことができる。

【0034】

また、手押し杆 15、前側連結バー 21、後側連結バー 22 およびガイドレール 31 は、2つの同一垂直面内において各々ヒンジ 15a、21a、22a、31a により折り畳み可能としてあり、また座部支持機構は屈曲可能なベルトにより形成されている。したがって、上述のように前脚 12 と後脚 14 を平行状態に折り畳んだ後、左右のパイプ 17 を前方に移動させると、上記手押し杆 15、前側連結バー 21、後側連結バー 22、およびガイドレール 31 の両端部が前方にコ字状に折り曲げられ、ベビーカー 10 を図 2 に示すようにさらにコンパクトに折り畳むことができる。

【0035】

以上述べたように、本実施の形態によれば、脱着シート30aの側部54内に引張ひも55を設けたので、この引張ひも55によって側部54の立上り状態を維持することができ、脱着シート30aのボックス形状を確実に維持することができる。

【0036】

なお、上記実施の形態において、ベースシート52上に脱着シート30aを設け、脱着シート30aの側部54に引張りひも55を設けた例を示したが、これに限らずベースシート52上に脱着シート30aを配置することなく、ベースシート52にベース座部52aの両側から立上がるベース側部（図示せず）を設けてもよい。

【0037】

この場合、ベース側部内に、ベース側部の立上り状態を保つ引張りひもを内蔵することができる。

【0038】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、脱着シートの側部内にひもを固着したことにより、脱着シートの側部の立上り状態を維持することができる。このため脱着シートのボックス形状を安定して維持することができるとともに、安全でかつ外観上優れたベビーカーを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明によるベビーカーの実施の形態を示す斜視図。

【図2】

ベビーカーを折り畳んだ状態を示す図。

【図3】

ベビーカー本体とベースシートとを示す斜視図。

【図4】

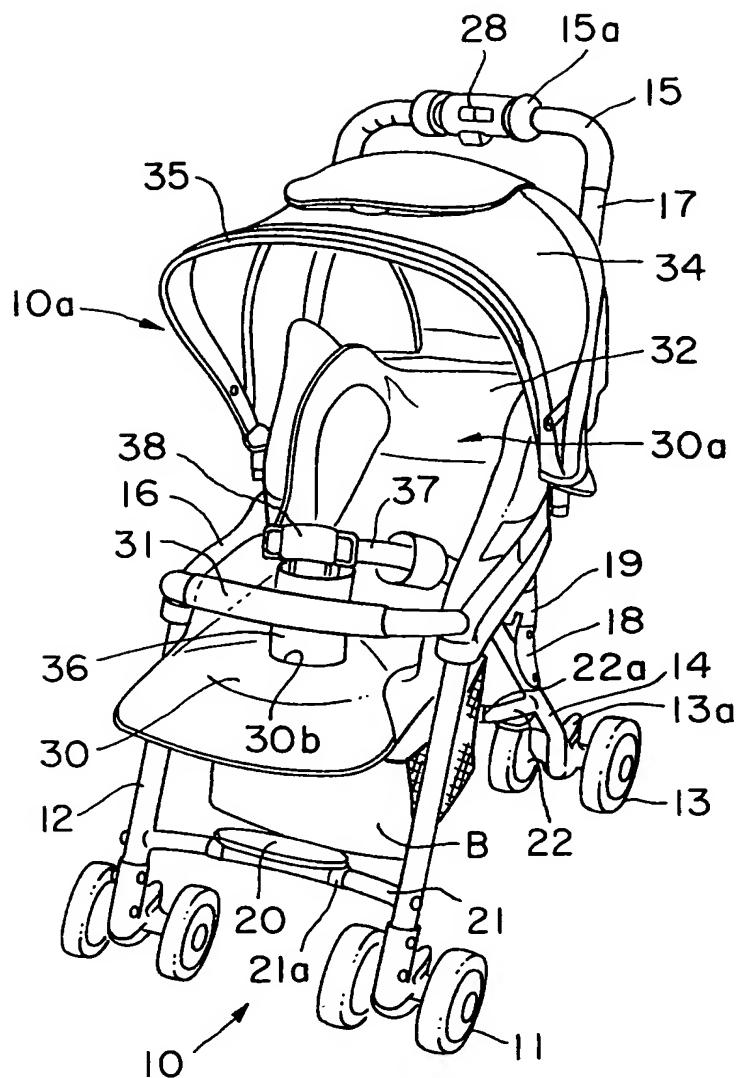
脱着シートを示す斜視図。

【符号の説明】

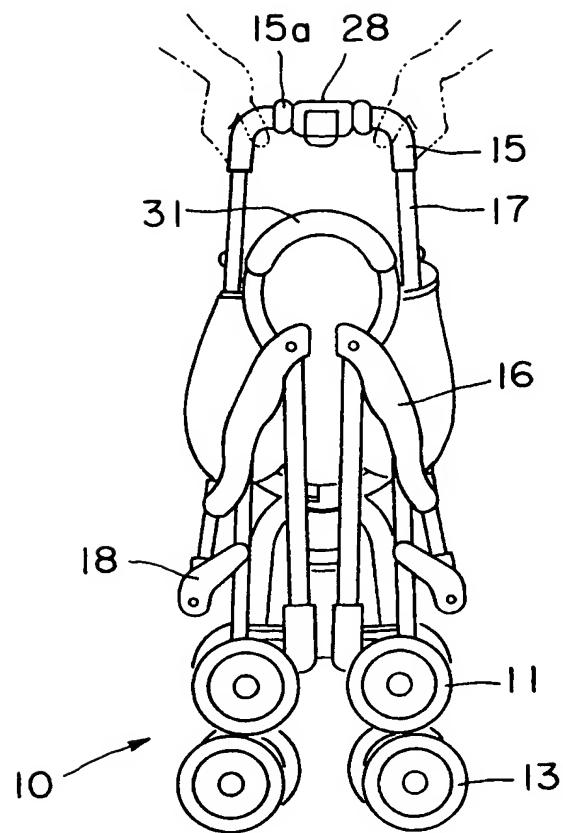
- 1 0 ベビーカー
- 1 1 前輪
- 1 2 前脚
- 1 3 後輪
- 1 4 後脚
- 1 5 手押し杆
- 1 6 アームレスト
- 3 0 座部
- 3 0 a 脱着シート
- 3 1 背部
- 5 2 ベースシート
- 5 2 a ベース座部
- 5 2 b ベース背部
- 5 4 側部
- 5 5 引張ひも
- 5 5 a, 5 5 b 引張ひもの端部

【書類名】 図面

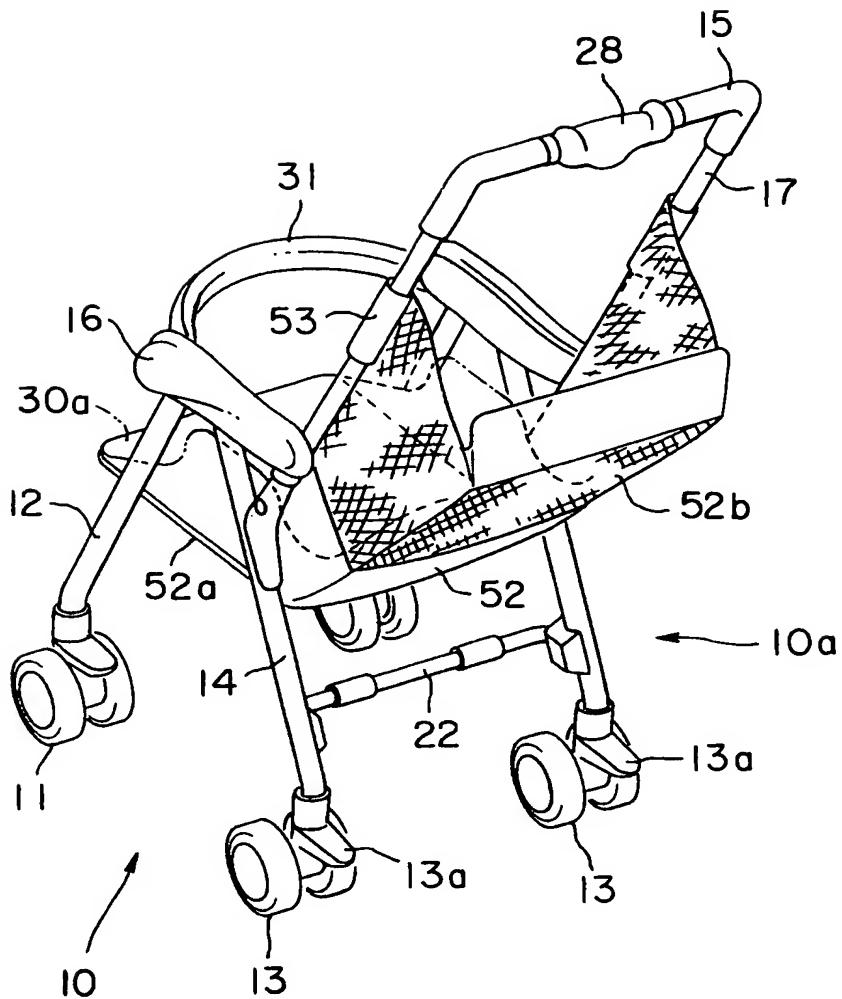
【図 1】



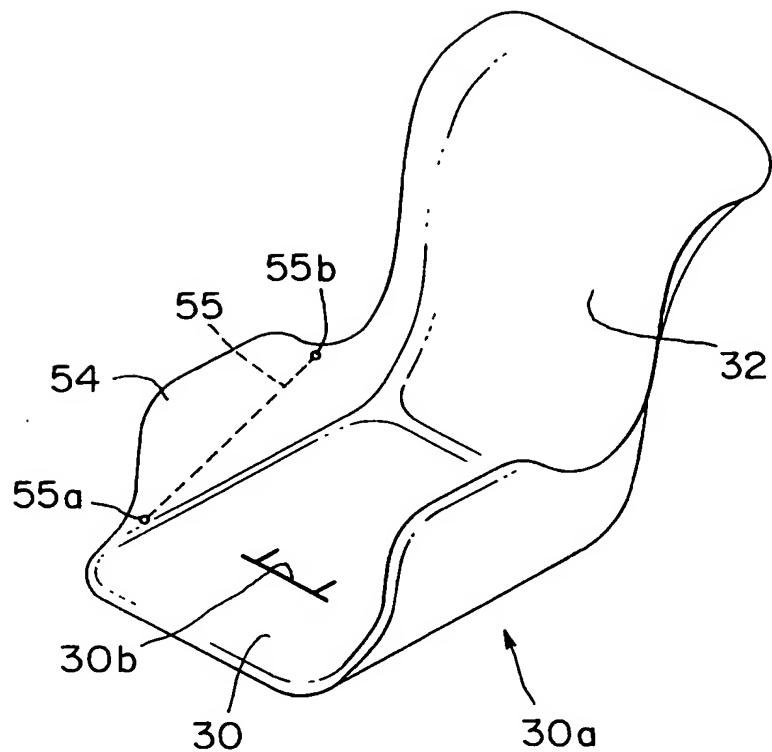
【図2】



【図3】



【図4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 脱着シートのボックス形状を安定して維持することができるベビーカーを提供する。

【解決手段】 ベビーカー 10 は、手押し杆 15 と、一対の前脚 12 と、一対の後脚 14 とを有するベビーカー本体 10a と、ベビーカー本体 10a に設置されたベースシート 52 と、ベースシート 52 上に設けられた脱着シート 30a とを備えている。脱着シート 30a は座部 30 と、側部 54 と、背部 32 とを有している。脱着シート 30a の側部 54 内に、側部 54 が外方へ倒れることを防止する引張ひも 55 が内蔵されている。

【選択図】 図 4

特願2003-003502

出願人履歴情報

識別番号 [391003912]

1. 変更年月日 1990年12月20日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都千代田区内神田3丁目16番9号
氏 名 コンビ株式会社

2. 変更年月日 1996年 8月 7日
[変更理由] 住所変更
住 所 東京都台東区元浅草2丁目6番7号
氏 名 コンビ株式会社